

# ワーク・ライフバランス講演会を開催

2009年10月、小室淑恵氏をお招きし、仕事とプライベートのバランスをうまく取っていく「ワーク・ライフバランス」について講演会を開催しました。

## 講演会の感想



小室 淑恵さん

1999年、(株)資生堂に入社し、社内ビジネスモデルコンテストで優勝。2004年日経ウーマンオブザイヤー受賞。2006年に、(株)ワーク・ライフバランスを設立。内閣府の専門調査会や研究委員会の委員なども務める。1児の母。



私生活の充実が自己研鑽につながり、その結果、仕事の質や効率が高まるという「ワーク・ライフバランス」を意識することは、自分の仕事の仕方や生活を見直すきっかけになり、また周囲とのコミュニケーションの活性化にもつながると感じました。いきいきと働ける職場作りにはとても大切な考え方だと思うので、積極的に取り組んでいきたいと思います。

経営企画部 森脇 千加

プライベートを充実させるためのよいアドバイスを頂いたと思います。女性従業員を対象に講演会をしていただきましたが、男女限らず参考になる内容でした。特に残業を減らす為のアドバイスで、残業をしてしまう原因や、効率よく業務をこなせない原因を考えさせられました。参考にさせていただき、「ワーク・ライフバランス」を充実させたいと思います。

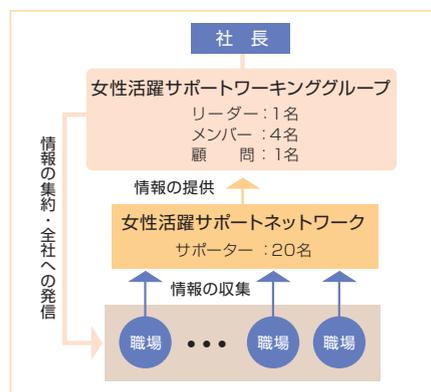
粉末事業部 清水 悠子

## 女性活躍サポート活動

「女性が働きやすい職場づくり」の定着を図るとともに、女性従業員の能力活用に向けた取り組みを本格化させるために、「女性活躍サポート活動」も発足させています。

この活動は、社長直轄の「女性活躍サポートワーキンググループ」と「女性活躍サポートネットワーク」で編成され、ネットワークは各職場とワーキンググループをつないで情報や意見を収集・提供します。ワーキンググループは情報の集約と全社への情報発信、制度の改善・定着に取り組むことを目的としています。

### ●女性活躍サポート活動推進体制



### Column

#### 女性育児休業取得者に聞く

第1子出産後に1歳まで育児休業を取得し、第2子出産後に2歳3ヶ月まで育児休業を取得しました。現在は、短時間勤務で働いています。幼少の大切な時期に子供と向き合えることは、子供にとっても私にとっても、意義深いと感じています。育児休業2回目は長く休んだので、休業中に報告や連絡をやりとりしていても、復帰した時は、職場環境の変化に正直戸惑いましたが、それを乗り越えられたのは、職場の周りの人達の温かい支えがあってこそと感謝しています。



システム企画室 南 智佳子